

一般質問

倉永議員は次の質問も行いました。〈東日本大震災から防災計画の見直し検討について〉



ただいま定期健康診断実施中！

へリコバクター・ピロリ菌が原因

胃がんの集団検診を

いきいき健康課長

X線検査を継続し国県注視



倉永豪修議員

問 最近の研究で胃がんの原因の95%はヘリコバクター・ピロリ菌の感染症で、胃酸の分泌が十分でない。乳幼児期に井戸水を飲用し感染し、50歳代以降に発症することが明確になってきた。また、40歳代以

答 厚生労働省、がん対策室では、研究班で評価を始めたばかりで、胃がん検診は国としてX線検査を推奨している。現在の取り組みを継続しながら、国や県の動向を注視していきたい。

問 ピロリ菌検査は、一般医療機関、集団検診では検査費用が異なるのか。

答 一般医療機関での検査では、胃潰瘍、十二指腸潰瘍及び既住症の方は、健康保険が適用されて1500円程度です。集団検診は、血液検査で1000円程度です。

問 新富町での医療費助成と申請窓口は。

答 本町における医療費助成は、40歳以上で個人負担1000円程度、60歳以上は無料です。申請窓口は、いきいき健康課です。

一ツ瀬川堤防の早期整備

町長

施策検討し既に準備



丹邦敏議員

問 一ツ瀬川堤防は、平成17年の台風14号において、欠陥であることが証明された。この欠陥堤防につい

答 この川は2市1町の用水において重要な役割を果たしている。22年に国の採択を受け、県の管轄で今後の施策を検討し、既に準備されている。

問 平成17年の台風で地域の冠水洪水の状況を目認しているか。

答 瀬口橋において色々な角度から確認し、堤防外の浸水も目認している。

問 目認されているので安心した。この堤防が決壊すれば大災害になる。平成17年に西都市三財川堤防が決壊し大被害が発生した。

答 県の計画は、長期整備計画と伺っているが、出来るだけ早く整備されるよう強く要請していただきたい。また、地震に関する対策法が確定



平成17年の堤防からの湧水

答 すればこれに絡めた施策は出来ないのか。

答 今まで国県に対して要望してきたが、今後も引き続き出来るだけ早く改善されるよう強く要望を行う。

問 自然災害について町長の考えは。

答 自然災害は世界中で発生が多く、いつ起こるか分からない。今後は今までの防災の認識を変更し対策にあたる必要がある。町も国県と共に防災対策をする。



町民でにぎわう「しんとみ朝市」

今こそ町の活性化を

町 長

積極的に事業を推進！



櫻井 盛生 議員

問 新富町も人口減少や財政難の時代を迎えるが、影響を最小限に食い止めるため、今こそ町の活性化を図るべきだ。

答 町では、活性化のため商品券の発行や県のスポーツ行事を受け入れるなど様々な取り組みをして成果を得ている面もあるが、町外の人に来て頂けるよう祭りやイベントを含め見直

等行事を見直すことが必要であり、併せて来訪客を新富町に宿泊して頂く等対策をとるべきではないか。

しし、町発展につなげていきたい。宿泊についても公民館を活用し、地域と一緒にになった取り組みができればと考えており、積極的な推進を図りたい。

問 現在の高齢者祝

祝い金お渡しする等、「町が率先し高齢者を大切にする姿勢を示すこと」が、地域社会に好影響を与えるのではないかと。介護予防事業・老人等介護手当支給事業等高齢者の福祉の充実に取り組んでいる。今後、質の高い行政サービスに取り組んで行くのでご理解を頂きたい。

口蹄疫被害農家の資金対策は

町 長

対策資金等の支援あり



城 吉 信 議員

問 口蹄疫の被害畜産農家の資金対策はどうなっているのか。

答 本町は、防疫体制の支援を引き続き行

っている。資金面においても口蹄疫対策資金等の支援もあり活用してほしい。

問 施設園芸農家に対する支援策はないか。

答 現在のところ資金面での対応は、経済変動は今後の経営に大きく影響するので、動向を見ていく。

きたい。

問 津波・地震・台風による避難計画と被害による備えはできているのか。

答 より早く安全な場所に避難することが大切で、避難場所、経路を確認しておくなど十分な備えをお願いしたい。

現在、本庁においては水、食料、毛布等の備蓄がほとんどなく、公的備蓄に頼っているのが現状である。今年度より計画的に備蓄を行っていく。

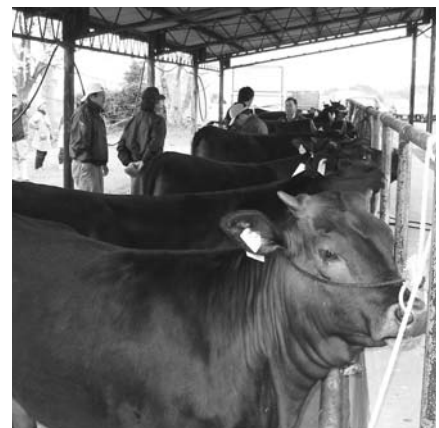
問 成法寺住宅に公園

と新田地区に運動公園を造る計画はないのか。

答 成法寺住宅地は公園ではなく、引き続き町営住宅地として活用する。新田地区に運動公園の計画は今のところありません。

問 職員の指導教育はどう行っているのか。

答 町民へ質の高い行政サービスの提供を行うため、資質の向上と能力開発を図ることが重要である。専門研修、実務研修の派遣等や人事交流などを行っていく。



牛さーん早く帰ってきてー！

下村議員は次の質問も行いました。(乳幼児と児童生徒の医療費助成状況、障がい者へのサービス)

高齢者いきいき健康事業の成果は

いきいき健康課長

受診者増へ早期発見に効果



下村 豊 議員

問 高齢者いきいき健康事業の成果等は。

答 現在、5つのがん検診を助成している。受診者数は、事業に取組む19年度が1659人、22年度は3209人である。要精密検査の方も増え



親しい仲間と心身の健康を！

ており、早期発見・治療に効果があり、今後医療費の削減につなげたい。

問 防災対策の責任は町長にある。東日本大震災の教訓による町防災計画の改善点及び今年度の防災訓練は。

答 町独自として、災害対策本部組織改編、避難場所・避難所の洗い直し等について着手した。ハザード

マップは、県の見直しを受けて対応する。今年の訓練は、時期を前倒しして実施する。突発的な地震発生時の住民の避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通して、避難経路、避難場所、避難施設などを確認する訓練をしたい。

問 米軍再編に係る九州防衛局との覚書の履行状況について、以前一般質問で住民

へ説明するように要望したが、その後どうなっているのか。

答 まだお知らせしていない。覚書の進捗状況は、毎年度、年度終了後、九州防衛局と21項目について検証することとしている。しかし、口蹄疫、鳥フル、東日本大震災などにより、検証ができていない。今後、22年度末までの検証を行い、町民へお知らせする。

驚く人口減少対策は

町 長

企業誘致や産業育成に努力



三浦 千尋 議員

問 本年3月31日時点の人口は、推計策定時からすると約3千人、平成19年の見直しから1千人強の

マイナスである。コホート法算定ではなく、国立人口問題研究所の数字を参考にすべきでは。

問 県内町村等しく本法を適用してきたが、結果的に差が生じた。人口は地方交付税、町内消費に多大な影響がある。積算ケ

スタディ(事例研究)が不十分と思う。

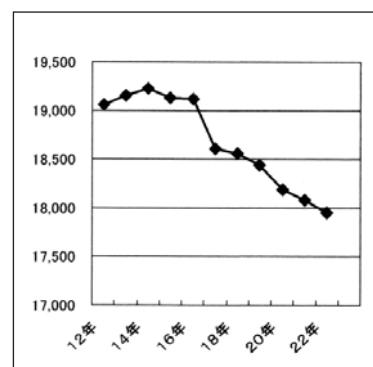
答 ケーススタディはしていない。

問 近時5、6年で驚く人口減少。対策は。

答 人口減少抑制のため、子供の教育推進、企業誘致、地場産業育成に努める。

問 3月11日の東北大地震を経験し、県主導による情報伝達訓練が清風園を対象に行われたが、このことから学んだことは。

答 町職員には、緊急召集メールを配信し、町民には防災行政無線で情報を伝達したが、実践的な避難訓



新富町の人口減少の推移

練の必要性を感じた。また、一人一人の防災意識の向上充実が必要。

問 津波警報発令から施設入居者の避難経路まで、少なくとも20分以上は経過、東松島市の知人の例からして完全に犠牲者を出す。

答 避難経路の見直しや津波警報発令直前からの初動を重要視する。

問 かめめ台などは、高台への避難のためには、早々の道路拡幅が命を守ると思うが。

答 避難道路の案内を急ぎたい。

※コホート (Cohort) 法とは、ある年次の男女・年齢別人口を基準として、これに出生、死亡、社会移動を加味して、5歳階級ごとの人口の変化を5年おきに追いつながら将来の人口を推計する方法。

議 会 活 動

文教厚生常任委員会

新委員会 町内学校を訪問



ルピナス特別支援学校にて説明を聞く

委員会は新しい構成になり、初めての定例議会の開会になりました。議案の審議を行いました。学校の都合に合わせ、町立小中学校7校とルピナス特別支援学校を訪問しました。各校長への挨拶と現状などを知る機会にすることができました。

上新田小中学校は、児童・生徒数が少ない中で充実した学習と、元気のよい挨拶が印象的でした。
新田小学校は新校舎が完成、新田中学校は現在新校舎が建設中です。来年度の小中一貫校開校に向けて準備中です。

富田小学校・追分校は、今年の新入生はありませんでした。現在2年生から4年生まで6名が通っています。この先どうするか検討する時期にきているように思いました。

対するお礼と障がい児教育への知識を深めるため訪問しました。障がいをもっていることを早く見つけてあげて、適切なサポートをすることが大切であり、改善が期待できることを認識しました。

米軍の新田原基地使用 調査対策特別委員会

滑走路70%の進捗

新しく5名がメンバーに加わり、基地の状況と関連する工事の状況を確認しました。

米軍の訓練移転用の隊員宿舎は、建物自体の工事は完了し、外構の整備を残すのみとなっています。

新しくは、順調に進捗し、ほぼ70パーセントの完成度でした。このまま進めば今年の12月には完了するとの説明を受けました。完成後の訓練移転等については、現在のところ情報はありません。



既設滑走路の工事現場で説明を受ける

議会事務局



若木家 補佐



井上 事務局長

議会事務局は、4月1日付で人事異動がありました。新事務局長に井上 透氏、事務局長補佐に若木浩順氏が着任しました。よろしくお願いします。

なお、前事務局長の西岡博幸氏は税務課長へ、事務局長補佐の瀬戸口誠氏は都市建設課長補佐へ異動されました。

カ・メ・ラ・探・訪

夏



▲「ユニカール」の用具は役場に
あります！



▲超人気玉子かけご飯！
しんとみ朝市



▲今年の梅雨はよく
降りました。
私は一段と鮮やかに、美しく咲きま
した。



▲今年の夏はプールが一番！



▲地区の名誉にかけて熱く燃えました！

町民の声

議会に寄せられた
町民の皆様の声です。

新富町に住むようになって
5、6年になります。当時と
あまり変化はなく、町の発展
は大丈夫かと心配していま
す。
図書館を建設して、それを
中心にまちの活性化は出来
ないものでしょうか。

新田 学生 Sさん

立候補の際の公約は、実
現できる努力をして欲しい。
1年目に話題位は出てこない
とおかしいと思う。全てがす
ぐ出来るとは思わないが、努
力の姿が表に出る活動をして
欲しい。誰がなつても同じと
言われる議会では悲しい。

平田 K・K氏

口蹄疫などの理由で、離農
され未耕作地がめだちます。
農業委員、農協などと協力
して、耕作農家をさがしたり、
新しい作物等を取り入れた
農家に、応援したり紹介した
りするのいいと思います。

上新田 Y・K氏

編集後記

この度の改選で議会広報特
別委員会が新構成になり、委
員長の城以下6名で担当する
ことになりました。よろしく
お願い申し上げます。

議会広報紙の役目は、議会
の出来事をありのままに、わ
かりやすく、町民の皆様にお
伝えすることだと考えており
ます。議会による、町民の皆
様のための広報紙、町民の皆
様の知る権利に、議会は知ら
せる義務を果たすことがポイ
ントだと思っています。

本誌の充実には議会改革のひ
とつであり、新しいネーミン
グのとおり、皆様と議会のか
けはしになることを願ってお
ります。

吉信

議会広報編集 特別委員会

委員長 城 吉信
副委員長 下村 豊
委員 永友 繁喜
高野 賢治
増永 逸雄
阿萬 誠郎

※連絡先 議会事務局

TEL 33-6139